

音楽文化創造学科准教授 伊藤 孝子

1. 研究活動

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目 音楽療法各論 1	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
子どもに対する音楽療法についての講義。音楽療法についての独自の理論は未だ確立されているとは言い難いため、独善的にならないように、他領域関連分野の知識を紹介し、音楽療法と関連付けるよう工夫した。	毎回2～3枚程度の自作プリントを作成し用いている。
授業科目 音楽療法技法Ⅲ、Ⅳ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
一人一台ずつキーボードを使用できるML教室で授業を行った。単に弾くだけでなくコミュニケーションを想定した動きを取り入れた形での演奏を促すことで、実践に応用できる即応力を身につけることを目指した。	
授業科目 音楽療法実習 1、Ⅲ、Ⅳ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
縦割りのクラスを編成し、それぞれの学年の役割を作ることで、学生間での自主的な学習態度を形成するよう心がけた。実践現場で生じた問題を自己解決する思考、能力を身につけるため、毎回実践後にカンファレンスを行い、自主的な発言を促すよう工夫した。	

3. 学会等および社会における主な活動